



居宅介護支援事業所

介護屋みらい

介護の「みらい」よもやま話



〈介護屋 宮崎〉
代表取締役社長
宮崎 直樹

皆さまこんにちは。5月号まではみなさまが関心の高い特別養護老人ホームについてご説明をさせて頂き、6月から8月号までは介護保険制度の変化や認知症サポーター養成講座についてとなりましたが、今からは介護老人保健施設についてご説明をさせて頂きます。

一般の方はなかなか特別養護老人ホームと介護老人保健施設について区別がつかない方が多いのが現状だと思います。

色々な説明を切り落として最小限の粗っぽいもとも分かり易い

自宅復帰を目標とした 介護老人保健施設の役割

表現で2つの施設を比べると、特別養護老人ホームは最期まで入居ができて、介護老人保健施設は自宅に帰るための施設となります。

特別養護老人ホームが終の棲家と言われていますが、介護老人保健施設はリハビリを受けて、ご自宅に戻るためにはどうしたらいいのか、訓練やアドバイスをを行う場所です。

介護老人保健施設とは？

介護老人保健施設のことを「ろうけん」と略して呼ばれることが多いです。特別養護老人ホームを「とくよう」と呼ぶことが多いので、介護の専門職の間では、「ろうけん」「とくよう」と表現しています。

前段で粗っぽいご説明となりましたが、詳しく「ろうけん」という施設を説明致しますと、介護を必要とする高齢者、いわゆる要介護者が自宅で生活ができなくなった場合、もしくは入院をしていて、自宅に戻るまでの間もう少しリハビリを行ってから自宅復帰したい

等の理由がある方が入居されます。医師による医学的管理の下、看護体制が整い、看護・介護といったケアの提供があります。さらに、理学療法士や作業療法士といったリハビリの専門職等によるリハビリテーションを提供し、食事面での栄養管理や身体清潔保持（入浴などの日常支援も併せて提供する施設となります。

自宅復帰を目標とした施設になるので、利用者ひとりひとりの状態や目標に合わせたケアを、医師を中心とするチームで行い、夜間でも安心できる体制を整えています。

介護老人保健施設をご利用いただける方は、介護保険法による被保険者で要介護認定を受けた方のうち、病状が安定して入院治療の必要がない要介護度1〜5の

方です。医師による医学的管理の下、看護体制が整い、看護・介護といったケアの提供があります。さらに、理学療法士や作業療法士といったリハビリの専門職等によるリハビリテーションを提供し、食事面での栄養管理や身体清潔保持（入浴などの日常支援も併せて提供する施設となります。



方で、リハビリテーションを必要とされる方です。

船橋市の老人保健施設の現状

現在、船橋市には介護老人保健施設は14施設あります。金額に関して4段階の月額が多床室で11万円〜12万円程度、個室で21万〜22万円程度。「とくよう」と違い、終の棲家では無いため、「ろうけん」では何百人待ちの施設はあまり聞いたことはありません。実際に私が関わりを持たせて頂いていたご利用者様が「ろうけん」に入居することになった時は入居待ちは0名でしたので、即入居ができました。



「ろうけん」についての実情を取材に行かせて頂きましたので、次月は医療法人社団紺整会介護老人保健施設フェルマータ船橋 塩原氏のインタビューを記載致します。



居宅介護支援事業所

介護屋みらい

住 船橋市薬円台 4-16-4-202

☎ 047-404-2660



会場 / 市場カフェ

住所 / 船橋市市場 1-8-1

(船橋市地方卸売市場関連棟)

【市場側連棟】



問合せ・申込は

☎047-404-2660

(介護屋みらい船橋店)

9/30(土) 認知症サポーター

15:30 ~ 16:30

参加無料 養成講座

認知症サポーターについては、P9をチェック！

認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする「認知症サポーター」になりませんか？皆で認知症高齢者等にやさしい地域を作りましょう！



定員：15人 / 対象：認知症理解に興味のある方どなたでも